

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

衣食住について幅広く学べる大学を探している時に、同志社女子大学に興味を持ちオープンキャンパスに参加しました。実際に大学を見学し授業やキャンパスの雰囲気は自分に合っていると思い、受験しました。就職率が高いことも魅力的だと思います。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

3年になりそろそろ受験に向けて勉強しようと思います。英単語や古文単語を覚えるところから始めました。単語帳を常に持っていて登下校のバスの中や朝、放課後のちょっとした時間に少しも開くようにしました。また自分の苦手な分野をはっきりさせるため分野別に章が分かれている問題集を解きました。

[夏休み]

夏休みの間は生活リズムを崩さないように塾の自習室に通って勉強しました。1学期の間に見つけた自分の苦手な分野の問題を出来るだけ多く解いて分からないところは質問しました。繰り返し解くことで少しずつ問題の要所が掴めるようになりました。問題を解くときは答えのヒントになりそうな所や気になった部分に印をつけること、時間をはかしてペース配分を意識しました。そうすることでテスト本番も焦らず自分のペースで試験に取り組めたと思います。

[2学期～入試直前]

本格的に同志社女子大学の入試対策に取り組むようになりました。過去問を解いて間違えたところや自信を持って答えが書けなかったところの解法を入試直前に見直せるようルースリーフにまとめました。この頃はインプットよりアウトプットを中心とした勉強を意識して新しい問題に取り組むというより今までの復習をしました。どうしても覚えられないものはスマホのロック画面にしたり勉強机にメモを貼ったりして思い出すようにしました。自信を持って入試に挑めるよう不安な点をなくすことを心掛けました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校での体育祭や文化祭は全力で楽しむべきだと思います。高校最後の行事を悔いのないように楽しむことで受験勉強への切り替えも上手くいくと思います。健康面では生活リズムを整えることを意識していました。入試本番の時間に実力が発揮できるように普段から入試の時間を気にかけて生活することが大切だと感じました。テレビやスマートフォンは全部を立ち切るのはストレスになると思い、通知を切ったりアプリを消したり自分なりの工夫をすることで勉強に集中できるような環境にしました。スランプは努力しているからこそ落ち入るものだと思います。自分を追い詰めすぎず息抜きの日もとってほしい。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

毎日の少しずつの積み重ねが入試本番の自信につながると思います。思ったように成績が上がらなったり自己嫌悪に落ち入りやすくなることもあると思います。私も直前まで判定結果は厳しいものでしたが受かることが出来ました。最後まであきらめず頑張ってください。